

旭山記念公園の再整備工事の着工について

旭山記念公園は、札幌市創建100年を記念して昭和45年に造成された中心市街地と藻岩山・円山に隣接する公園で、今まで多くの市民に親しまれてきました。

本市では、平成13年に同公園の再整備事業を開始し、その中で、市民主体による再整備という観点から、シンポジウムや現地でのワークショップなどを開催し、市民の幅広い意見を取り入れながら、現在、再整備を進めています。このたび、同公園の再整備工事に着手しましたが、今後も、市民とともに管理運営も含めて協働して進めていけるように検討を行います。

1 再整備の必要性

公園開設から30年を経て、諸施設の老朽化とともに、市民が過去に植えた記念植樹も、既に過密な状態になっています。また、園路の傾斜もきつく、誰もが安心して利用できる設計(ユニバーサルデザイン)という観点など、公園開設時とは市民ニーズが変化していることを踏まえ、新たな公園づくりの対策が求められています。

2 再整備計画案の策定

幅広い市民意見を取り入れることを目的に、平成14年4月から、公園の将来像を検討するシンポジウムやワークショップを定期的で開催。

また、公園内に設置した「プロジェクトハウス」では、その検討結果を一般に公開して、利用者の意見や提案を募集し、平成15年3月に開催した第3回シンポジウムで計画案を発表しました。なお、再整備における基本コンセプトは次のとおり。

「市民参加により計画を進め、そのプロセスを公開し、十分な論議を重ね創造していく」

「豊かな自然環境を生かした、地域の文化をはぐくむ場を創出する」

「市民の記念植樹や、その他の樹林地育成を新たに見つめ直す」

「少子・高齢化社会への対応と、ユニバーサルデザイン化への取り組み」

3 公園の現状

【住 所】中央区界川4丁目

【面 積】201,198㎡

【主な施設】噴水、文学碑(宮田益子句碑、寺田京子句碑)、札幌焼窯跡など

【主な催事】さっぽろ旭山音楽祭(7月)

4 事業概要

再整備工事が始まる今年度は、西側の「森の散策エリア」を中心に、ユニバーサル園路や木製デッキのほか、あずまややベンチといった休養施設を中心に整備します。

また、17年度には市民の憩いの場となる「ピクニックテラス」、18年度以降は「展望テラス」、「レストハウス」、「水景施設」などの施設の工事が予定されています。

【平成16年度総事業費】

約1億9,600万円

【今年度までの実施経過】

年 度	業務、取り組み等
平成13年度	基本設計（その1）～翌年度のシンポジウム開催に向けた、自然環境・利用実態調査や、調査・活動内容を報告するニュースレターの発行開始など。
平成14年度	基本設計（その2）～再整備基本設計（再整備における基本コンセプト）の策定に向けたシンポジウム・ワークショップの開催など。
平成15年度	森林環境整備・管理運営検討業務、実施設計（その1）～再整備実施設計、ワークショップ（デザイン、森、記念植樹林）の開催など。
平成16年度	森林環境整備・管理運営検討業務、実施設計（その2）～森のワークショップ、管理運営ワークショップの開催など。

【今後の工事スケジュール】

年 度	整備区域	整備施設
平成16年度	森の散策エリア	・散策路（ユニバーサル園路） ・木製デッキ ・案内標識
平成17年度	森の活動広場 ピクニック広場 駐車場	・ピクニックテラス ・駐車場の拡張
平成18年度	展望スペース レストコーナー イベント広場	・展望テラス ・レスト施設～売店、トイレ ・給排水設備
平成19年度	展望スペース 水景 芝生広場 駐車場	・水施設
平成20年度 （完成予定）	芝生広場 園路	

整備区域、施設ともに、今後のワークショップの内容により変更の可能性あり

5 管理運営方法の検討

市民が主体的に公園運営にかかわれる仕組みづくりを目指して、再整備をきっかけに立ち上がった市民団体らとともに、公園のデザインだけでなく、管理も含めて、協働して進めていけるように検討を行います。

また、公園のあり方についても、利用者協議会等を通じて公園利用者の意見が反映されるような仕組みづくりを行います。

6 園内の樹木の育成について

これまでも、森のワークショップ等を通して、市民の意見や専門家の知識を取り入れながら森づくりを考えているところですが、今後は、良好な樹木の育成を目指します。

【問い合わせ先】

環境局緑化推進部造園課

担当：川口、桑島

電話 211-2525

